

# 「みんなが住みたいまちづくり」 の実現に向けて行動します

皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災は、死者・行方不明者は2万人近くに及び、今も4万人近い方々が不便な避難生活を強いられています。そして数カ月が経っても私たちの記憶の中には、人に覆いかぶさる大きな津波、そして福島原子力発電所での人がなすすべもなく、ただひたすら見守るだけの事故実況中継、自然の恐るべき力のすごさと、人の無力さを感じました。きっと私たち人間は、何かの見えざる力のなかで、生かされているのではないかと感じられずにはいられませんでした。

大震災からの一日でも早い、復旧・復興、原発事故の早期収束を願うところであります。日本を取り巻く情勢は、円高の進行、タイの洪水、欧州債務危機など先行きに不透明感が広がっています。日本経済の建て直しは、再生に向けて問題を先送りせず、未来につながる成長戦略と社会保障と税の一体改革を推し進め、将来に安心と期待を持てる社会の実現であると思います。

昨年の世相を表す漢字に「絆」が選ばれました。大震災の絶望と困難の中、物質的な豊かさの空虚さを感じ、被災地の人々の真面目さと心の強さの中から日本人の気高き精神と美德を世界に示し、感銘を与えました。

被災地の人々の姿は、国内外から集うボランティアの輪となりました。また、身近で共感できる人の大切さを思い出しました。家族の絆、親しい人との絆、頼れる絆を重視するようになりました。デパートでは、家族・両親・恋人・自分への感謝のプレゼントとして、高級品が売れているそうです。

本市には、180名弱の震災避難者の方々が生活されています。そして、多くの支援の輪が広がりを見せています。被災者への義援金として、市民の方々より7千万円強の浄財が集まりました。今年は、「絆」という特別な意味のある言葉とともに、サッカー女子ワールドカップで優勝した「なでしこジャパン」からも希望と勇気を頂きました。今年こそは、きっと良い年にしなければなりません。

皆様の期待を胸に議員生活6年目、市民福祉常任委員長の役職を全うします。人に優しく「みんなが住みたいまちづくり」実現に向けて、活力がありみんなが住みたくなる、誇れる様な本市のまちづくりの為に「行動こそ原点」を忘れず働きます。

今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上、今年一年が皆様にとって実り多き年であります様ご祈念致します。



宮城県山元町被災地での炊き出し支援



**特集**

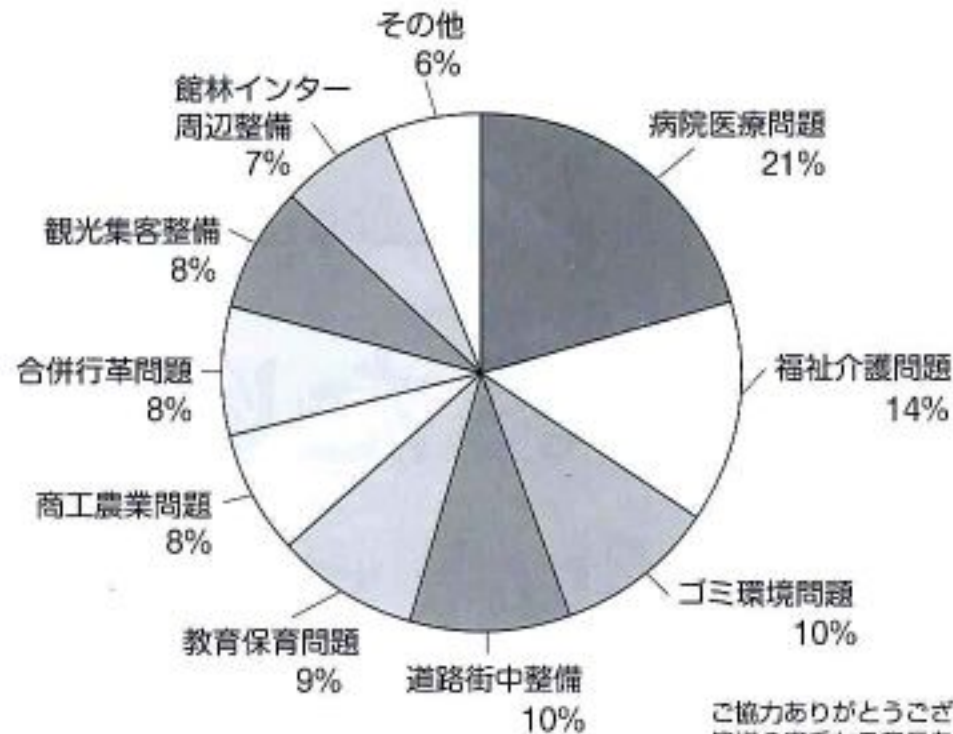
第2弾

**多田善洋の今後の市政活動に望む課題アンケート**

(H23.1~2月実施)

多田善洋調査結果

実施時期	H19年1月~2月	H23年1月~2月		
送付数	3000	3500		
回収者数	103	126		
回収率	3.4%	3.6%		
課題項目	回答数	比率	回答数	比率
病院医療問題	47	23%	91	21%
福祉介護問題	22	11%	82	14%
ゴミ環境問題	22	11%	41	10%
道路街中整備	25	12%	41	10%
教育保育問題	23	12%	40	9%
商工業問題	9	5%	36	8%
合併行革問題	25	12%	35	8%
観光集客整備	14	7%	32	7%
館林インター周辺整備	4	2%	25	6%
その他	10	5%	26	6%
合計（重複あり）	201		429	



○ご意見をお聞かせ下さい○

多田善洋の今後の市政活動に向けて、参考にさせていただきます。

1. 以下の課題で最も関心があるものを3つ選んでください。また、理由も併せてお聞かせください。

- [ ] 病院医療問題
- [ ] 福祉介護問題
- [ ] ゴミ環境問題
- [ ] 道路街中整備
- [ ] 教育保育問題
- [ ] 商工業問題
- [ ] 合併行革問題
- [ ] 観光集客整備
- [ ] 館林インター周辺整備
- [ ] その他

2. 今後、多田善洋の市政活動について、ご期待やご要望があればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

氏名 \_\_\_\_\_ 電話番号 0278- \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。  
皆様の貴重なご意見を今後の活動の参考にさせていただきます。

**総論**

市政に対するアンケートハガキを3,500枚後援会会員の方と街中の皆様へ配布をし、126枚のご意見を頂きました。前回（4年前）にも同じ項目にて実施したものです。

今回、課題項目の回答数が前回の201から409へと倍増され、具体的な提案が増えました。このことは皆様の市政に対する関心が増し、館林に対する真剣な熱い思いであると感じました。回答率は3.6%（前回3.4%）と若干向上致しました。多田善洋に対する関心も少しですが上向いたのかなと感謝申し上げます。

さて、一部の記名者から推察すると前回同様に30代・40代の方は教育保育問題、40代・50代の方は福祉介護問題に対する強い関心のある意見が多かった様です。全ての年代の方の共通問題として館林厚生病院を中心とした病院医療問題の回答が多くありました。前回と比べて減少したのが合併行革問題です。合併の機運はあるものの、少しも進まず関心が薄れたように推察できます。それに反し商工業問題への関心が高まったのは、景気が減速するなか雇用の確保が背景にあるものと思われます。また、道路街中整備の項目が減少したのは4年前に比べて館林駅東西連絡通路、西部一号線立体交差が完成し、市内の南北道路の交通渋滞が少しずつ改善されたのが要因と思われます。しかし、近隣市と比べ、高速道路館林インター周辺整備の遅れがあるため、市民の関心が少しずつ高まっている様です。

今回皆様から頂いた様々な問題を、関連行政部局責任者に届け、一つ一つ解決をして市外の人達が憧れを持ち、安心・安全、そして快適で生活しやすい街、市民が誇れる都市を目指して市議会議員として今後活動して参りたいと思います。

多くの皆様より貴重なご意見を頂き大変ありがとうございました。

※詳しい皆様からの声はホームページ (<http://tadanet.jp>) よりご覧頂けます。

**市政と地域の元気に挑戦**

～そして勉強しています～



館林駅にてまちなか散策ガイド配布



島田市子ども発達支援センター視察



趣-1グランプリin館林ボランティア協力